

日本在住の中国人留学生はオンライン授業を通じて 日本をどのように捉えているか

Perception of Japan by Chinese Students through On-Line Classes Living in Japan

松田 勇一・安 龍洙
Yuichi MATSUDA・Yongsu AN

概要

本稿では、コロナ禍において日本在住の中国人留学生がオンライン授業を通じて日本、日本人、日本文化をどのように捉えているのかを明らかにするために、中国人留学生3名に対してPAC分析を用いて調査を行った。その結果、先行研究の対日観と類似した点がある反面、被調査者ごとに特徴的な対日観も見られ、また新型コロナウイルスの影響に関することを挙げた者もいた。まず先行研究と類似した対日観としては、「礼儀正しい日本人」、「決まりを忠実に守る日本人」、「親切で優しい日本人」、「自己主張をせず曖昧な行動を取る日本人」、「アニメの国」、「清潔で綺麗好きな日本人」、が挙げられる。被調査者ごとの特徴的な対日観としては、「高齢者の食文化の豊かさ」、「地方都市の快適さ」、「かわいい社会」、「居酒屋文化」、「本音ではなく建前を言う社会」、「高齢者も働く社会」、「天皇を敬う社会」が挙げられる。新型コロナウイルスの影響に関しては、「10万円の給付金が想像以上」、「1人時間の延長」、「飲み会がなくなった」、「コロナ対策が甘い」、「ストレスの増大」等の態度構造が見られた。

キーワード：コロナ禍、オンライン授業、日本在住留学生、異文化理解、PAC分析

1 はじめに

独立行政法人日本学生支援機構（2021）によると、2019年に日本の外国人留学生数は312,214人（前年比13,234人増）となり、2008年に策定された「留学生30万人計画」の目標数値に初めて達した。しかし、2019年に始まった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大によって状況は一変し、2020年の外国人留学生数は279,597人と大きく減少した。高等教育機関においては、日本国内からの進学が主である大学院の留学生は2019年の53,089人から2020年の53,056人と殆ど変化が無かったが、海外からの留学生を受け入れている大学学部・短期大学・高等専門学校は2019年の92,952人から2020年の83,077人と1万人近く減少した。また、海外からの留学生が主である日本語学校においては、2019年の83,811人から2020年の60,814人と2万人以上も減少した。留学生の多くが日本語学校を卒業した後に進学することを考えると、今後の大学学部・短期大学・高等専門学校の

留学生の減少は避けられない状況と言えるだろう。

新型コロナウイルスの影響は留学生の減少だけにとどまらず、教育現場における授業方法も一変させた。まず、多くの教育機関がオンラインによる遠隔授業を導入し、学生が自宅にいながら授業を受けられるようになった。教員側も教室ではなく、個人の研究室や自宅から授業を行うことになった。次に、オンラインではなく対面による授業を行う場合においては、三密の回避やマスクの着用が徹底されるようになった。このような状況において、オンラインで日本と海外との学生を結ぶCOIL（オンライン国際交流学習：Collaborative Online International Learning）が注目を集めている。2014年からCOILを開始した関西大学（2017）によると、COILとは「情報通信技術（ICT）ツールを用いて、海外の大学に属する学生達とバーチャルに連携しながら、様々な分野のプロジェクトに取り組む新しい教育実践の方法」である。コロナ禍におけるCOILの研究としては、ウイルソン・岩野（2021）、岡崎他（2021）、菱川（2021）、藤山（2021）、山下（2021）等がある。ウイルソン・岩野（2021）は、日本とアメリカの大学と行った英語と国際交流の科目について報告し、学生からはCOILに対して肯定的な意見が多く見られたとした。岡崎他（2021）は、日本とアメリカの大学間でのCOILプログラムについて報告した。菱川（2021）は、日本とロシアの大学でのCOIL型授業の実践報告を行い、日本語とロシア語での日露共同授業が学生たちの成長に一定の役割を果たしたと述べた。藤山（2021）は、日本とインドネシアの大学での異文化コミュニケーションの科目での実践報告を行い、その中で学生は日本語と英語でのやり取りをし、合同授業は学生の主体的な学習を産み出しているとした。

山下（2021）は、日本の大学生とアメリカの大学院生との、日本人学生の英語コミュニケーション能力向上のためのCOIL型授業の実践報告を行った。COIL型授業を行った結果、アメリカ人大学院生の励ましと学習支援が日本人学生の学習意欲が向上する要因になっているとした。以上の研究は、日本人学生の国際交流と語学力向上が主たる目的となっているが、コロナ禍における外国人留学生の日本語の授業に関する研究には、高橋他（2020）、武田（2020）等がある。高橋他（2020）は、日本語入門クラス（ゼロ初級者）における非同期型（オンデマンド型）e-learningの授業報告を行い、遠隔授業を実施した上で、今後は学習者が自ら歩み進めるような学びの場を整備し提供することが教師の役割になるかもしれないとしている。武田（2020）は、日本の大学における日本語教育課程のオンラインでのプレイメントテストの実施や授業状況を報告し、利点や問題点を述べた。また、藤・竹本（2021）はコロナ禍における日本在住の中国人留学生を対象として新型コロナウイルス感染症の流行が与える影響を調査した。その結果、アルバイトの収入に影響があった割合は7割を超え、新型コロナウイルス感染することを心配している割合は9割に近いことが分かった。また、8割以上の留学生が新型コロナウイルス流行後、ホームシックを感じると回答している。

以上のような先行研究があるが、日本在住の外国人留学生在がオンライン授業を通じて日本をどのように捉えているかという研究は管見によると見当たらない。コロナ禍という特殊な状況において対面での授業を受けられない留學生は多いと考えられるが、彼らの声を聴くことは今後の日本の教育現場におけるあり方を模索する一助となると考える。本研究は日本社会における「外国人」と「日本人」の異文化相互理解の実態とその特徴について認知的・情意的な観点から質的に検証し外国人と日本人の相互理解と相互交流の課題と問題点を検討する一連の研究の一部である。

中国人留學生を対象とした対日観に関連する研究は、中国人を対象とした対日観の研究は、安（2010,2012,2013）、松田・安（2018）、松田・安（2019）等がある。安（2010）は中国人非正規留學生4名を対象に、安（2012）は中国の少数民族出身者4名を対象に、安（2013）は中国人留學生4名を対象に、松田・安（2018）は中国人交換留學生4名を対象に、松田・安（2019）は中国人大学院生4名を対象に、それぞれ個人別態度構造分析法（Analysis of Personal Attitude Construct:PAC分析法）を用いて考察を行っている。これらの先行研究では、被調査者に対して刺激語を与え、対日観について調査している。安（2010,2012,2013）は、刺激語「日本、日本人、日本社会についてどんなイメージを持っているか」を与え、全体的な対日観を尋ねた。松田・安（2018）は、刺激語「私が生活する日本の社会」、「私と日本人がつきあうこと」、「私の国の人と日本の人が分かり合うこと」を与え、留學生本人が日本という異文化をどのように理解しているのかに焦点を当てた。松田・安（2019）は、「サブカルチャー」と「若者文化」という観点から考察を行っている。

以上のように、中国人留學生についての研究は多いが、コロナ禍という特殊な状況における留學生の日本観を調査することは、コロナ後の教育現場を考える上でも重要なことと思われる。本稿では、中国人留學生がコロナ禍の日本においてオンライン授業を受け、日本、日本人、日本文化をどのように捉えたのかについて考察を行うことを目的とする。

2 方法

本研究では、調査時の2021年2月に、日本の大学院に在籍している中国人留學生3名を対象に「オンライン授業を通じて日本をどのように捉えているか」についてPAC分析を行った。

調査は第1部と第2部に分けられるが、第1部は被調査者本人の同意を得てフェイスシートに被調査者の属性を記入させてから、質問紙を用いて以下のように調査を実施した。

まず、被調査者に以下の刺激語を与え、イメージ項目が10項目以上になるように記入させた。

【刺激文】 あなたは「オンライン授業を受けて感じた日本・日本人・日本文化」に対してどんなイメージを持っていますか？ あなたが「オンライン授業を受けて感じた日本・日本人・日本文化」を考える時に重要と思われる順番に下の「イメージ表」に10個以上記載してください。イメージは、単語（例：優しい、寒い）、または短い文（例：日本の冬は寒い）で書いてください。

その後、その連想イメージを重要と思われる順序に並べさせた。更にそれぞれのイメージ項目の組み合わせが、直感的イメージでその意味内容においてどの程度近いのかを7段階尺度で評定させた。この尺度での回答をもとに、ウォード法でクラスター分析し、その結果に対する対象者自身の解釈を求めた。

第2部は口頭により、1) 各クラスター及びクラスター全体の解釈、2) 各イメージ項目に対して、そのイメージを抱くようになったきっかけや媒体を尋ねた。

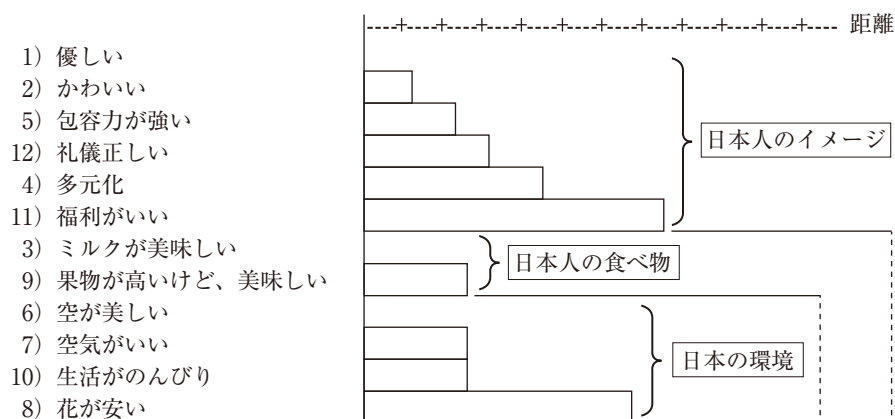
調査は2021年2月に第2著者が実施し、理解を妨げる被調査者の日本語の誤用については修正を加え分析を行った。また、本稿では被調査者が特定されないように地名、国名、大学名、施設名などはすべて〇等にした。

3 結果

ここでは、まずクラスター分析の結果を示し、その結果に対する被調査者自身の解釈を示す。なお、括弧で示した部分は調査者の発言である。

3.1 被調査者Aの場合

図1は、被調査者Aのデンドログラムである。



1) 左の数値は重要順位

図1 被調査者Aのデンドログラム

クラスター1は「1優しい」「2かわいい」「5包容力が強い」「12礼儀正しい」「4多
元化」「11福利がいい」の6項目でクラスター名は「日本人のイメージ」とした。クラス
ター1は「優しいのは大体、日本の方の性格？感じ。イケメンのイメージ。優しい。あ
とは、話すとき、付き合いや、私は学校の先生や、学校の友達、日本の友達、アルバイ
トの時もお客さんも、同じ他のバイトさんも優しい。話しても、手続きも、いい人もい
ます。2番目のかわいいは、日本のイメージ。まず外国人として、日本はかわいい。普
通の女性も、いつもかわいい言葉を言われます。そして、政府の飾り。外の飾り。あと、
普通の道。例えば、今、〇〇で〇〇ちゃん感じもかわいいし、あと、政府。中国より
かわいいと思います。(政府って何ですか。)例えば市役所のアニメの感じ。中国にはあ
んまりないんです。(マークとかキャラクターですか。)はい。(キャラクターがかわい
いというイメージがある?)かわいいです。私、初めて日本来たとき、市役所で手続きを
しました。その時、袋も、〇〇ちゃんがありました。その袋、かわいいと思います。もし、
中国なら真っ白です。(他には?)祭りの時、いろいろ多様です。特に服。例えばロリー
タ。私、アルバイトの時、お客さん多分、50代、60代の人でもスカート履きます。若い
心だと思います。みんな、かわいいのが好き。そして、5番の包容力が強い。5番も4
番と一緒に多元的な社会だと思います。例えば、中国のお年寄り、例えば、パスタ、ケ
ーキ、チーズをあまり食べません。でも、日本のお年寄り、洋食も普通の食事として
の場合もあります。多分、西欧、欧米からの影響が深い感じ。そして、中華料理もフ
ランス料理もスペイン料理も地元の料理もいろいろな店があります。そして、大体みん
な食べます。でも、中国では若い人は食べますが、30代以上、40代以上の方はあまり
食べません。あと、礼儀正しい。礼儀正しいは、例えば、普通、朝、外でおはようござ
いますと言います。あとは、よろしくお願ひします。いつも、いろいろな言葉があります。
あいさつの言葉も多いと思います。中国では、こんにちは、よろしくがありません。あと、
礼儀正しいのは、他の人に迷惑を掛けないように、みんなこの感じ。あと、11番の
福利代。その一方、多分、税も多いですね。でも、外国人にとって、例えば、学校の学
費は減免があります。そして、コロナ来る時、政府が1人に10万円。外国人もありました。
それは、想像以上の感じ。あと、医療の福利。あと、国民保険。私、残念です。3
年の間、まだ一回も病院に行っていません。私の先輩、病気で悩んで、病気の時、中国
より安いと思います。普通の、重篤ではない病気は、多分、中国は安い。でも、もっ
と重篤な例えばICU？ICUに入ると中国はとても高い。でも日本って安い。でも、
(今、クラスター1の話をしてくれましたが、コロナの前、あるいは日本に来る前と何か、
今、話した内容と変わったことがありますか。)私、日本来る前、このイメージがありま
したが、自分の経験がなかったので、どのようなかわいい、どのような優しい、どのよ
うな礼儀正しい、自分のイメージがありませんでした。一番変わったことは、クラスター
1の中では無いと思います。(日本に来る前と、そんなに変わったことないってことす

か。)はい、そうです。(このようなイメージを日本に来る前も持ってたってことですかね。)はい、聞いたことがあります。」と解釈した。

クラスター2は「3ミルクがおいしい」「9果物が高いけど、美味しい」の2項目でクラスター名は「日本の食べ物」とした。クラスター2は「これは以前、私、日本に来る前、日本のミルク飲んだことがなかったので、来た後、ミルクおいしいです。味が違います。中国のはなんか水みたい。日本のミルクの方がおいしい、そして安い。日本のミルク、1000ml、200円くらい。でも中国、普通のミルク200mlが100円です。日本のほうが安い。そして、安くておいしい。(果物も?)果物、高いですけど、香りもいいし、味もいいです。例えばイチゴは、高いですけど、味は本当にイチゴの香りもします。(一番好きな食べ物は何ですか。)果物と牛肉。(中国でも牛肉食べると思うんですが、味が違うんですか。)牛肉は、日本の牛肉、国産の牛肉高いですが、やわらかい。一番いい。(和牛はおいしいですか。)はい。そうです。〇〇牛。合宿のとき、ゼミのみんなと一緒に〇〇に行きました。だから、〇〇の牛も食べました。おいしかった。でも普通は薄切り、いつも買うのは普通のオーストラリアからの牛肉です。値段は中国より安い。でも国産のは高いです。(クラスター2に関してはどうですか。日本に来る前とイメージ変わりましたか。)日本に来る前は、このイメージがありませんでした。でも、日本に来る前は、日本のお菓子食べました。日本のお菓子、多分、味が甘過ぎます。チョコレートがいっぱいあります。種類もいっぱい。時々、食べます。食べ物は実は同じ量なら、中国より安いです。質がいいと思います。品質。あと、安全性もいいと思います。中国では、リンゴ、トマトの形は、さまざまです。でも、日本って全部同じ感じ。リンゴはみんな同じ。1個ずつ100円。みんな同じです。私、食べ物で、一番関心があるのは、私が料理店で働いた時、果物、野菜が来的时候、最初に送る場所は学校で、その後、料理店でした。だから一番いいものは日本の子どものためというのは、いいと思います、子どもの体のために。(ここで働いていたんですか。)中国料理店。(今はもうアルバイトは?)〇〇で、品出しです。(クラスター2は変わってる部分もあるんですかね、来る前と。)多分、同じです。でも、コロナの後は多分、少し高くなりました。(値段が?)はい、そうです。その感じ。でも、去年、多分、同じです。」と解釈した。

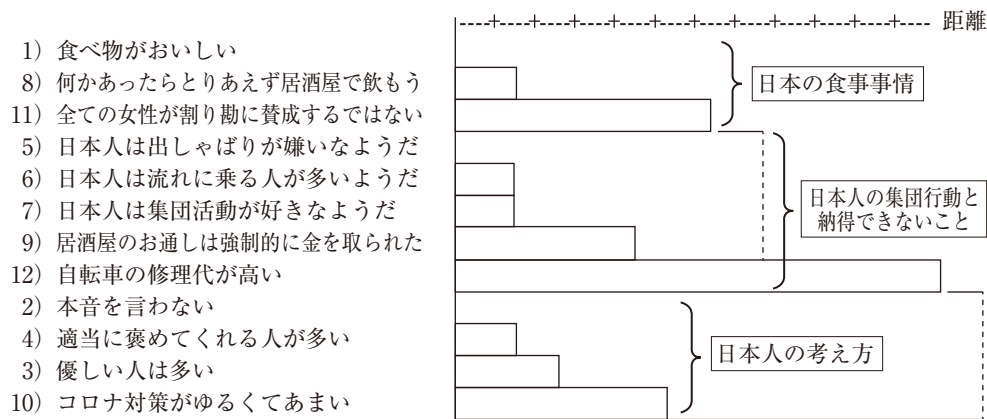
クラスター3は「6空が美しい」「7空気がいい」「10生活がのんびり」「8花が安い」の4項目でクラスター名は「日本の環境」とした。クラスター3は「これは環境。日本の環境です。一番空が美しい。空がアニメみたい。雲、白くて時々空の中に多いです。夢みたいな感じです。〇〇省は灰色の空。日本のような空ではありません。日本の空は空が低い感じです。手をあげたら雲に触れる。とても美しい。夕方、空がオレンジ、ピンクになります。日本の夕焼けの時間は中国より早いです。私、時々、家族と通信する時、こっちは午後5時のとき、もう真っ暗になりました。でも、母のほうは、まだ、午後の感じ、昼の感じです。あとは、空気がいいです。日本には車がいっぱいありますが、空

気がいいです。10番は、世界がのんびりです。多分、今、〇〇に住んでいます。私、東京あまり好きではありません。人がいっぱい、電車の人もいっぱいです。みんな歩くスピードも速いです。多分、みんな仕事が忙しい。やっぱり〇〇市の感じの街が好きです。花が中国に比べて安いと思います。花が売り場もいっぱいだと思います。みんな花を育てることが多いと思います。(クラスター3は、日本に来る前、あるいはコロナの前と何か変わりましたか。) 同じです。6、7、と8は同じ。でも10は、コロナの前、もっとのんびり。コロナ来た後、あんまり、学校も行けません。でも家でオンライン授業を受けます。あと、アルバイトの時間も減少、あんまりないので。だから1人でいる時間が長くなりました。(アルバイトが減って大変じゃないですか。)大丈夫です。普通は家族からの留学、必要なお金をもらっているの、基本な生活は大丈夫です。でもアルバイトしないので、オーストラリアの牛肉を買います。アルバイトがあったら、国産の牛肉が食べられます。」と解釈した。

全体のイメージのイメージについては、「全体、やっぱりかわいいです。私、日本のことが好きなので、ミルクの味、かわいい。果物もかわいい。空もかわいい。人もかわいい。この社会がかわいい。多分、かわいいか。かわいい以外では、やっぱり人々が優しいと思います。」と解釈した。

3.2 被調査者Bの場合

図2は、被調査者Bのデンドログラムである。



1) 左の数値は重要順位

図2 被調査者Bのデンドログラム

クラスター1は「1 食べ物がおいしい」「8 何かあったらとりあえず居酒屋で飲もう」「11 全ての女性が割り勘に賛成するわけではない」の3項目でクラスター名は「日本の食

事事情」とした。クラスター1は「これは日本の食事情みたいな感じですね。印象は、イメージ通り、食べ物はおいしかったり、2番目はとにかく何かイベントとか活動があったら、すぐ飲み会を開こうみたいな感じで、そういう感じですね。11番は特に日本に来る前に、中国では飲み会みたいなイベントがあったら、女性はみんな払わずに、全部男性が負担することが9割以上あると思いますね。日本人なら、みんな割り勘することが多いというイメージを受けました。実際はそうじゃないですね。実際は日本人の大学生、女性の大学と4、5人一緒に飲み会に、居酒屋に行って、結局、男性側が払うことに2回くらいになりましたね。全部ではないですけど。(中国とどこが一番違うと感じていますか。) あんまり大人数の飲み会は中国では少ないですね。少人数のほうが多いですね。日本の場合は特にクラスごとに、何十人、20～30人くらいの飲み会も会社もそうですし、そういう方が。それはもう飲み会とは言えないと思いますね。ここはコロナ前のイメージです。(イメージは変わりましたか。) 食べ物は相変わらずおいしい。それは間違いありません。日本はちょっと質が悪いものなら捨てて、一番いいものを売ってる。だからちょっと値段が高いけど、その分、味もおいしいです。飲み会は、今はできないですね。それが一番変わったことですね。私はラーメンが好きです。(中国にもありますよね?) ちょっと違いますね、やっぱり。そこまで麺の種類、少なくとも私の地元では、そこまで麺の種類がそんなに多くはなかったですね。太麺とか、細麺とか。いろいろな種類があるじゃないですか。スープも一番違いますね。中国のほうは主に、上の具のほうに力を入れてたくさん、具の種類も多いですけど、日本みたいな、チャーシュー、メンマ、煮卵、一般的なラーメンのイメージですけど、中国の麺はいろいろありますね。マーボー豆腐とかチンジャオロースとか…。スープに力を入れてる店もあるけど、日本みたいな感じはない。僕はなかったと思います。」と解釈した。

クラスター2は「5日本人は出しゃばりが嫌いなようだ」「6日本人は流れに乗る人が多いようだ」「7日本人は集団活動が好きようだ」「9居酒屋のお通しは強制的にお金を取られた」「12自転車の修理代が高い」の5項目でクラスター名は「日本人の集団行動と納得できないこと」とした。クラスター2は「5、6は大体、同じような感じですけど、例えば自分が教育実習の時感じたことなんですけども、みんな本当に同じブランドのスーツを着て、鞆も大体、同じブランドとか、同じ形、様式のかばんを持って、あとは質問されたりするとき、シーンとしてて、多分、先頭に立つことがあまり好きじゃないようなイメージを受けましたね。他の場面は、例えば1人でご飯を食べるのがあまり、嫌なような感じがしますね。私から見ると、1人でご飯を食べても、別に友達いないなとまでは思わないですね。でも日本人の考えからすると、この人、寂しいなって、友達いないなって、すぐ思われがちなイメージがあります。(皆と一緒に食べるというイメージを持ってらるんですか。) そうですね。みんなと一緒にとか、学校でご飯を食べたりする時は、みんなと一緒に食べたり、あとは放課後とか皆と一緒に帰らなきゃいけないとい

う感じですか。9番目はちょっと理解できないです。お通しは。多分、嫌いな日本人もいると思います。一応、中国、昔はそういう感じで、割り箸とか、おしぼりとか、金、強制的にお金を取られたんですけど、最近は法律ができて、違反するようになっていきます。多分、もちろんお通しも駄目ですね。ですから、そこはちょっと理解があまり…。嫌だなど、納得できないです。7番の集団活動は、さっき言った1人でご飯食べる感じですか。集団活動、多分、日本人もそう。自分もそう思ってますね。集団活動が好きな民族だと思います。12番は本当に最近のことなんですけど、自分の自転車のチェーンが壊れてて、それを〇〇の隣の修理店に直していただきって頼んだんですけど、それだけで900円取られました。別に部品交換とか何もしてくれなかったんです。ただ、チェーンの位置を調整しただけです。それだけで900円取られました。高いなと思います。9番と12番は、ただ日本の収入が高いから、物価も高いということではなくて、ちょっとその値段なら、あるいはそれだけで、高いお金が取られるということは、ちょっと納得できないですね。(他に特徴的な点とかありますか。) 6番ですね。流れに乗る人が多いということは、バラエティー番組を見て受けた印象です。具体的に言えば、例えば、すごくいい店で、すごく有名なシェフが作ってくれた料理なら何でもおいしいとか、たとえば、それがインスタント食品であっても、自分で分かっているけど、その店の雰囲気に流されて、おいしいなって言った人が多かったです。それはクラスター3の2番目とも繋がって、私ならまずいならまずいってはっきり言うんですけど、日本人は絶対言わないと思います。5番目の、出しゃばりが嫌いという原因もあって、周りの人が言わなければ、自分も言わないということですね。他の中国人は分からないですけど、自分はちょっと不思議だと感じました。今はもう何も思っていないです。そうなんだなって。最初の頃から本当に食べ物に関しては、おいしくないとか、まずいとか一言も聞いたことないです。(では、コロナの前と後とイメージは変わりましたか。) コロナとは、関係ないですね、あまり。(日本に来る前と変わったイメージとかありますか。) はい。日本に来る前は結構、耳にしたのは集団活動が好きな日本人が多くて、あとは、みんな出しゃばりが嫌い、他の人と違うと、嫌だなどと思う日本人が多いという。それは、来る前に聞いたんです。(日本に来て分かったことは?) もちろん全部ではないということは分かりましたね。大部分の人は来る前の、そういうイメージと合ってるなって分かりました。自分は中国の例えば、小学校とか幼稚園とか、もちろん制服があるんですけど、その分、鞆とか帽子とか靴とかは、みんな好きな物を選びます。でも日本人は全身1色。皆と同じ物じゃなければ駄目という感じですね。本当に誰が誰だか分からない。皆同じような感じで、作られたような感じですね。」と解釈した。

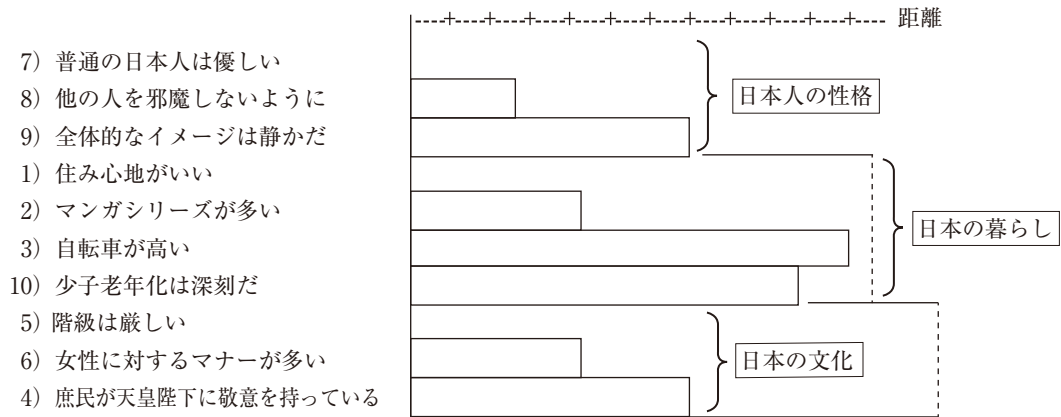
クラスター3は「2本音を言わない」「4適当に褒めてくれる人が多い」「3優しい人は多い」「10コロナ対策がゆるくてあまい」の4項目でクラスター名は「日本人の考え方」とした。クラスター3は「これは日本人の考え方みたいなグループですね。事情みたいな。

2番は、本音を言わないのは、有名ですね。日本人、多分、自分でもそう思ってると思います。4番は本当にやめてほしいですね。例えば、書道の授業で起こったことなんですけど、自分の字は下手なんです。それは自分も分かってるんです。でも、うまいなって本当にたくさんの人に言われたんです。それはやめてほしい、本当に。適当に褒めてくれるのは、やめてほしいんです。字下手だなとまでは言われたいんですけど、うまいなって、明らかに嘘の言葉。本当にやめてほしいです、日本人の方に。適当に褒めてくれる人が多かったですね。3番目は、自分の日常生活で感じたことなんですけど、特におばあちゃんたちが、優しいおばあちゃんがすごく多いですね。結構、助けてもらったんです。(どこですか。) スーパーなんですけど、なんですかね。これは日本に来たばかりの時なんですけど、まだ日本語が分からなくてスーパーに行った時、知らない物が多いじゃないですか。何に使うとか。特に調味料とか。それを知らない人に聞いたら、みんな親切に説明してくれたんですね。そんなに嫌だなという感じがなくて。めんどくさい感じもなくて、そうですね。詳しく説明してくれましたね。そこはちょっとびっくりしましたね。(10番は?) 要はコロナ対策。政府のことなんですけど、ちょっと緩くて甘くなって感じます。例えば14日間の自宅待機ということなんですけど、それは強制的でもなくて、誰に監視されることもない。自宅待機というのは自分でやることじゃないですか。勝手に出たりすることもできますから、意味がないです。そういうルールを守らない人は必ずいるなと感じました。あと、マスクもそうですね、マスクせずに店に入っても、誰かに言われたこともありません。それはちょっとどうかなと思いますね。今、中国だけでなく、韓国でもマスクをしなかったら罰金の法律もできているらしいです。日本は全然なかったです。(クラスター3に関して日本に来る前と変わったことはありますか。) コロナが起きてから、人と人の距離がすごく遠ざかって、前と比べたら、すごく親近感がなくなりました。例えば、先日、自分の指導教員の研究室を訪ねたんですけど、先生と話してる時、先生はずっと手で口をふさいで話したんです。コロナのせいで、そういう感じでおしゃべりするなんて、すごく嫌だなと感じましたね。先生は多分、マスクしていなかったから、そういう行為をしたかなと思いましたね。コロナによって人と人の距離が遠くなりましたね。(2番と4番と3番は日本に来る前とイメージは?) あんまり変わってないです。日本に来る前に、既に留学の経験がある先輩から、あまり日本人の言ったことを全部、丸飲みしない方がいいって聞いたことがあります。日本人が言ったおいしいものは、100パーセントおいしいとは限らないとか、日本人が言った、すごいなとか、うまいなということも全部信じてはいけないということ、既に聞いたことがあります。」と解釈した。

全体のイメージについては、「一番言いたいのは、本当に建前じゃなくて、頑張ってる本音を教えてください。日本人が一番言いたいことですね。あとは、本当のことなら例えば、本当においしくない料理なら友達でも、おいしくないよって言ってもいいかなと思いますね。」と解釈した。

3.3 被調査者Cの場合

図3は、被調査者Cのデンドログラムである。



1) 左の数値は重要順位

図3 被調査者Cのデンドログラム

クラスター1は「7普通の日本人は優しい」「8他の人を邪魔しないように」「9全体的なイメージは静かだ」の3項目でクラスター名は「日本人の性格」とした。クラスター1は「これは自分と知り合った日本人、そして日本に来た生活をまとめて日本人の性格のイメージを考えています。(具体的に7番は?)普通の日本人は優しい。これは日本に初めて来た時に、迷子になった時に知らない日本人が道を案内してくれて、ちょっと優しいなあと感じました。9番は、お正月とか日本での生活は花火とか爆竹とかがない。あとは、夜になっても赤ちゃんの泣き声とか犬の声とか何も聞こえない。だから全体的に静かだと思いました。(8番は?)日本人は礼儀が正しいと言われてますが、実は他の人を邪魔しないで自分のやることはちゃんとやりなさいということで、他の人の面倒見てくれるのは、この人は他の人に邪魔しないのかなと思いました。実は、中国の大学で指導してくれた先生が自分の経験を言いました。それはその先生が日本に行ってバスに乗った時、バスで急に吐きそうになりました。他の日本人は、吐き袋を渡しました。その時、日本人は『これを使ってください、他の人の邪魔にならないようにしてください』と言いました。だから、もしかして他の人に迷惑を掛けないためだからと思って、これを書きました。(〇〇さん自身も感じますか。)感じました。例えば、学校で自分がパソコンのプリントとかできない時ちょっと友達を呼びました。その後、ある先生が『他の人に迷惑掛けないように自分で解決しなさい』と言いましたから。(クラスター1は日本に来る前とイメージは?)大体変わってないです。」と解釈した。

クラスター2は「1住み心地がいい」「2マンガシリーズが多い」「3自転車が高い」「10少子高齢化は深刻だ」の4項目でクラスター名は「日本の暮らし」とした。クラスター

2は「これは日本の暮らしの状況。自分が日本に来てもうすぐ3年で、この3年間の自分の経験で、生活経験に基づいてまとめた内容です。住み心地がいいというと、例えばマンション、部屋の中でお風呂とかキッチンとかこういうような設備が付いている。だから住み心地がいいと思いました。2番は、日本はマンガ大国って言われています。そのマンガとかアニメについてのシリーズが多いので。あと周辺のシリーズ。マンガに関わる商品とか写真とか、そういう玩具とかたくさんありますので。理想的なマンガ大国みたいな感じ。マンガについての物が何でも買える。見るマンガとか、マンガに出てきた商品とか、実際の生活に出てくるそういうような感じ。買える、触れられる、見れる。(3番と10番は?) 中国では自転車が安い、4年前ぐらいでシェアの自転車はもういっぱい出てきた。だから無料で、無料じゃなくて少しだけお金を払って自転車に乗れるのが多いので、皆自転車は買わなくても普通に使える。日本に来て、日本の自転車は少なくとも1万円ぐらいでちょっと高いなと感じました。10番は、これは日本に来ていろんな飲食店、工場で働く人は老人が多い。これにちょっと驚いて、あと近くの小学校とか少ない。あとは、知り合いの日本人の話から、少子化が深刻で近くの学校が廃校になって合併しましたという話を聞きました。だから、日本で少子老年化が深刻になったという状況が分かりました。(クラスター2は日本に来る前のイメージと何か変わったところがありますか。) 多分、1番です。中国は発展途上国、日本は先進国。日本で経済的なストレスを感じました。生活面で言えば確かに住み心地はいいけど、もし社会人になって、ストレスとか感じるかもしれない。地震とか台風とかコロナあって、今回のコロナにあっても皆は相変わらず会社に通うとか。これはもし皆死ぬのは怖いけど、でも仕方ない、会社を続けるということでそういうところからストレスが多いかな。中国でもストレス、どちらでも同じです。でも中国の場合は今回のコロナで、国家からコロナだから仕事をしないでという命令が出ました。そして大部分は命令に従って、動きません。」と解釈した。

クラスター3は「5階級は厳しい」「6女性に対するマナーが多い」「4庶民が天皇陛下に敬意を持っている」の3項目でクラスター名は「日本の文化」とした。クラスター3は「これは文化面から感じた内容。階級が厳しい。上司と部下の礼儀が正しい、ちゃんと敬語を使って挨拶しなければならない。6番、女性としてのマナーが多い。女性の場合は敬語を使われなければならない。あと女性としてのマナー、例えばラーメン屋さんに行く人は男性が多い。女性が少ない。これは日本人に聞いたら、女性が1人でありラーメン屋さんに行かない。「ちょっと恥ずかしく感じるから」と言いました。あとは、女性が座る時は膝をちゃんと閉じなければならないとか、化粧しなければならないというの、ちょっと感じました。4番は、中国で天皇陛下とか皇帝みたいなものは普通に呼んでいますけど、日本の場合、SNSで天皇陛下じゃなくて天皇だけ、こういうような単語を使って陛下を付けないので、庶民は天皇陛下に敬意を持ってるのかと感じました。(クラスター3のイメージは日本に来る前と何か変わった点がありますか。) あまりない

です。4番は、日本に来る前に天皇陛下とかちょっと知らない、知ってるけどシンボルとして考えていましたけど、でも実際に日本で生活してみると、やっぱり日本人は天皇陛下を尊敬しています。」と解釈した。

全体のイメージについては、「日本の生活とか、やっぱり静かで日本人の性格とか日本の社会環境とか静かです。そして、日本の人は極端です。実際の日本人は普通に礼儀正しい、親切、でも日本のエロ映画とかエロマンガとか、コンビニにも並んでいる。何かちょっと不思議だと思いました。前に『菊と刀』。その本で、日本の人は極端、表を見れば静か、優しいけど、でも裏側にはちょっと距離感とかがあって、例えば、顔とかにこここしてるけど心の中で怒ったりとか、こういうような。あと、外と裏、外と内、はっきり分かれています。(〇〇さん自身も生活してみてそのようなこと感じてるんですか。) そうです。前に日本であるグループがあって、私、初めてその教室に行ってその会長はちょっと顔が凛々しくて、案内してくれましたけど、その会長が優しくて、親切に教えてくれて、〇〇から〇〇に引っ越した後でもずっと連絡があって、いいおじいちゃんだと感じました。だから、多分、私がグループ入る前はおじいちゃんにとって私は知らない人、そのグループに入ったら皆の一員になって仲良くなって、もう孫みたいになりました。だから、外と内、はっきり感じました。日本人は全体的に静かけど、でも中にちょっとオープンな人もいて、包容心がある人も感じました。日本人はあんまり外に出ない、他の国に行ったりとか他の国の人と付き合う人は少ない。でも私が知り合ったお母さんはいろんな国に行って、そしてホームステイというイベントにも参加しました。日本人の中でやっぱりオープンとか、包容心が多い日本人が多いと思いました。(オープンな人が多い?) 多いじゃなくて、いる。あとは、そういうような人はほぼ二つに分かれます。一つはその人の教育レベルが高い。もう一つは、お金持ちです。お金がある、そして暇がある。あと外国に興味がある人、そういうような人。この二つは私が付き合っている日本人を見て自分がまとめた。(他には?) 日本ではお金持ちは多いけど、みんな細かい。例えば、中国に日本のピンポングループが中国に交流にきました。その時、先輩と一緒に案内しました。私たちが一緒にご飯を食べる時にある日本人女性が、ジュースを飲みたいと言いました。その時は中国のお金で9元ぐらいで日本円に換算すれば多分160円ぐらいです。その時、日本人の女性がすぐ携帯で調べて幾らになっているのか調べて、『じゃあやめましょう』と言いました。最後は注文しませんでした。その時はピンポングループは公費で来ていて、最後に注文しないのはちょっと細かいかなと。あともう一つ。ご飯を食べる時に、最後に麺を注文しました。大きな麺をみんな少しずつ取って、グループ回して、皆が麺を取って一緒に食べました。その後、麺が多かったので少しだけ残りました。その時、テーブルの女性は誰も食べずに一人の男性にあげました。これは男性の地位が高いかなと、ちょっと疑問に思いました。他には、プレゼントとか小さい物、贈る。前に、二つの小学校と高校に講師として、母国のことについて紹介に行きました。その時、

授業が終わった後、学校からお菓子とかもらいました。その小学校では5年生6年生にいろんなこと教えました。多分1、2週間過ぎた後、その小学校から感謝の手紙をいっぱいもらいました。だから、日本人は礼儀が正しいとか感謝の気持ちが温かく、心が温かくなりました。手紙とか大した物ではないけど、でも学生の気持ちとか、自分が尊敬されるそういう気持ちがちゃんと感じました。中国では、イベントが終わった後でプレゼントを贈ることがあまりないです。他の人に頼む時はご飯に誘ったり、物を贈ったり、そういう習慣があるけど、学校ではちょっと分からないです。」と解釈した。

4 考察と今後の課題

4.1 先行研究と共通する対日観について

ここでは、安(2013)の結果との比較を行う。安(2013)の研究では被調査者が日本滞在歴2年以上の中国人留学生であり、本研究の被調査者と同様だからである。

(1)「礼儀正しい日本人」については、Aの「12礼儀正しい」、Cの「8他の人を邪魔しないように」「5階級は厳しい」が挙げられる。Aは日本人の礼儀正しさについて、挨拶をすることと、他人に迷惑を掛けないことを述べている。Cは、日本人の礼儀正しさとは他人の迷惑にならないように自分のことは自分ですることだと述べている。日本人の礼儀正しさについて、その背景にはどのような意味があるのかを考えているようだ。また、Cは階級の厳しさについては、上司と部下の礼儀と敬語の使用について述べている。

(2)「決まりを忠実に守る日本人」については、Cの「6女性に対するマナーが多い」が挙げられる。Cは日本では女性が守るべきマナーが多いと感じているようである。

(3)「親切で優しい日本人」については、Aの「1優しい」、Bの「優しい人は多い」、Cの「7普通の日本人は優しい」が挙げられる。Aは学校の教員、友達、バイト先の客、同僚に優しさを感じているようだ。Bは優しいおばあちゃんが多いと述べている。Cは迷子になった時に助けてもらった体験を述べている。ABCいずれも実体験に基づいてイメージが形成されていることが分かる。

(4)「自己主張をせず曖昧な行動を取る日本人」については、Bの「5日本人は出しゃばりが嫌いなようだ」「6日本人は流れに乗る人が多いようだ」「7日本人は集団活動が好きなのだ」「2本音を言わない」「4適当に褒めてくれる人が多い」が挙げられる。Bは日本での教育実習の体験を通じて5、6、7のイメージを持ったようである。2については有名なことであるとし、4については明らかに嘘であると分かるような建前は言わないでほしいと述べた。これらはBの実体験に基づいてイメージが形成されており、特に本音と建前についてはBが一番日本人に言いたいこととして挙げている。

(5)「働き過ぎ・仕事が大変な社会」については、該当するイメージが見られなかった。独立行政法人労働政策研究・研修機構(2019)によると日本の一人当たり平均年間総実労働時間は1988年が2092時間であったが、2018年には1680時間と400時間以上も短縮され

ており、以前の「日本人は働き過ぎ」というイメージが薄れつつあるのかもしれない。

(6)「アニメの国」については、Aの「2かわいい」、Cの「2マンガシリーズが多い」が挙げられる。Aは市役所を訪れた際、渡された封筒にマスコットキャラクターが印刷されていたことに対して好印象を持ったようだ。Cは漫画やアニメに関連する商品が何でも買える理想的な漫画大国というイメージを持っているようだ。実際、現在でも日本語を学ぶ留学生の多くは、日本の漫画やアニメーションを切っ掛けとして日本語の勉強を始めており、その影響力は大きい。

(7)「ストレス社会である日本」については、Cの「1住み心地がいい」が挙げられる。このイメージだけを見るとストレスとは真逆のようであるが、Cはこのイメージについて、日本は住み心地は良いが社会人になったらストレスを感じるかもしれないと述べている。また、日本では経済的なストレスを感じたともあるとしている。

(8)「清潔で綺麗好きな日本人」については、Aの「6空が美しい」「7空気がいい」が挙げられる。Aは自分の出身地と比較し、現在住んでいる日本の地方都市の空はアニメや夢のようだとし、環境の美しさを述べている。これまで接してきた留学生は、日本のゴミの少なさを挙げる者が殆どだったが、空の色や空気の良さが取り上げられるというのは、翻せば海外において大気汚染等が問題となっていることの表れかもしれない。

(9)「自殺者が多い社会」については、該当するイメージが見られなかった。厚生労働省(2021)によると人口10万人当たりの自殺死亡率は統計がある1978年以降最も高かった2003年が40.0であったのに対し2020年は22.9となっている。この数値は、国際的には決して低いとは言えないが、日本=自殺というイメージは薄れているのかもしれない。

(10)「日本の生食文化」については、該当するイメージがなかった。先行研究では、寿司、生卵等のイメージが挙げられていたが、今回は見られなかった。生食ではないが「日本の食べ物」についてのイメージは、Aの「3ミルクが美味しい」「9果物が高いけど、美味しい」、Bの「1食べ物が美味しい」が見られた。寿司や生卵については日本を代表する食べ物として一般的になり、あえて日本の食べ物のイメージとして取り上げなかったのかもしれない。反対に留学生の出身地にも日本にもある食べ物を比較することによって、日本の食べ物のイメージを作っていると考えられる。事実、Aは日本と中国の牛乳や果物を比較しながら、日本の食べ物の美味しさを述べている。

4.2 特徴的な対日観

ここでは、被調査者ごとに特徴的なイメージを取り上げる。まずAの特徴的な点は「4多元化」「5包容力が強い」「10生活がのんびり」である。4と5については日本と中国の高齢者を取り上げ、日本の食生活の豊かさについて述べている。また、10については東京とAが現在在住する地方都市を比較して、当該の都市が好ましいとしている。Aは全体的なイメージについては「かわいい」とし、日本に対して好意的なイメージが全体を覆っ

ていると考えられる。次にBの特徴的な点は「8何かあったらとりあえず居酒屋で飲もう」「11全ての女性が割り勘に賛成するわけではない」である。Bは日本では大人数での飲み会があるが中国では少人数での飲み会の方が多いとし、日本の大学におけるコンパ文化について言及していると考えられる。Bは全体的なイメージについては「建前ではなく本音を言ってほしい」とし、曖昧な表現や建前で褒められることに対して不快な思いを抱いていると考えられる。Cの特徴的な点は「10少子高齢化は深刻だ」「4庶民が天皇陛下に敬意を持っている」である。10については、日本では飲食店や工場で働く労働者が多いことを挙げている。中国では高齢者は現役を引退し、子どもの世代に支えてもらうのが一般的だと聞いたことがあるが、そうした状況を日本と比較すると、日本では高齢者が普通に働いていることは驚くべきことなのかもしれない。4については、日本で生活する中で日本人が天皇を尊敬していることを肌で感じた結果と思われる。Cは全体的なイメージについては、日本には表と裏、内と外の考え方があること、包容力がある日本人には教育レベルが高い人とお金持ちがいること、日本のお金持ちはお金に細かいこと等をエピソードと共に挙げた。Cの言葉からは、自身の日本での経験を客観的に分析しようとする姿勢が見える。

4.3 新型コロナウイルスの影響に関すること

ここでは、被調査者3名のイメージ解釈の中で、新型コロナウイルスの影響に関することを取り上げる。まずAは、日本政府からの特別定額給付金（1人10万円）が支給されたことに対して「想像以上」と評価した。またイメージ「10生活がのんびり」に関して、コロナの前はもっとのんびりしていたとし、コロナによってアルバイトが減少し、1人でいる時間が長くなったとした。Bはコロナによって飲み会ができなくなったこと、政府のコロナ対策が甘いということ述べている。また、人と人の距離が遠くなり、親近感がなくなったとしている。Cは日本ではコロナ禍でも会社に通うので、そのようなストレスを感じると述べた。このような意見は、実際に多くの留学生から聞く意見であり、尤もなことであろう。

4.4 まとめと今後の課題

本稿では、日本在住の中国人留学生が日本でのオンライン授業を通じて日本、日本人、日本文化をどのようにとらえているのかを考察した。その結果、先行研究の対日観と類似した点がある反面、被調査者ごとに特徴的な対日観も見られ、また新型コロナウイルスの影響に関することを挙げた者もいた。まず先行研究と類似した対日観としては、「礼儀正しい日本人」、「決まりを忠実に守る日本人」、「親切で優しい日本人」、「自己主張をせず曖昧な行動を取る日本人」、「アニメの国」、「清潔で綺麗好きな日本人」、が挙げられる。被調査者ごとの特徴的な対日観としては、「高齢者の食文化の豊かさ」、「地方都市の

快適さ」、「かわいい社会」、「居酒屋文化」、「本音ではなく建前を言う社会」、「高齢者も働く社会」、「天皇を敬う社会」が挙げられる。新型コロナウイルスの影響に関することは、「10万円の給付金が想像以上」、「1人時間の延長」、「飲み会がなくなった」、「コロナ対策が甘い」、「ストレスの増大」が挙げられる。

以上、本稿では日本在住の中国人留学生を対象としたが、日本に在住しない留学生については扱っていない。不幸中の幸いと言うべきか、コロナ禍によりオンライン授業が普及し、日本に来なくても日本の大学で授業が受けられることが普通になった。これにより、経済的な事情で日本留学を諦めていた学生が現地に居ながらにして留学することができるようになった。実際、現地でオンライン授業を受けた学生の中には、オンライン授業が無ければ授業に参加しなかったと言う者もいる。今後は、日本に来ることなく、現地でオンライン授業を受けた留学生に対して調査を行い、彼ら彼女らが日本、日本人、日本文化についてどのようなイメージを形成するのかを探って行きたいと考えている。

付記

本論文は、日本学術振興会学術研究助成基金助成金基盤研究C（課題番号：17K02838、研究代表者：安龍洙）の助成によるものである。

【参考文献】

- 安龍洙（2010）「外国人の対日観に関する研究-中国人非正規留学生の場合-」茨城大学留学生センター紀要8,1-17.
- 安龍洙（2012）「外国人の対日観に関する研究-中国の少数民族出身者の場合-」茨城大学留学生センター紀要10,1-14.
- 安龍洙（2013）「外国人の対日観に関する研究-中国人留学生の来日前後の対日観を比較して-」茨城大学留学生センター紀要11,1-15.
- ウイルソン,エイミー・岩野雅子（2021）「国際文化学科の人材に求められる行動特性の考察：BEVI-JとCOILの思考を通して」山口県立大学学術情報14,67-78.
- 岡崎威生・石川隆士・名護麻美（2021）「平成30年度「大学の世界展開力強化事業～COIL型教育を活用した米国との大学間交流形成支援～」－COIL型教育を活用した太平洋島嶼地域の持続的発展に資するグローバルリーダーの育成－」琉球大学教育センター報23,102-110.
- 高橋恵利子・村上貴世子・山中康子（2020）「遠隔授業における初級日本語クラス：コロナ禍対応から見えてきたこと」広島大学留学生教育24,9-18.
- 武田知子（2020）「コロナ禍における日本語教育課程（JLP）の取り組み」ICU日本語教育研究17,23-30.
- 藤媛媛・竹本圭佑（2021）「コロナ禍における中国人留学生のSNS利用と社会関係資本に

- 関する調査報告書」TERG Discussion Papers447,1-38.
- 内藤哲雄（2002）『PAC分析実施入門：「個」を科学する新技法への招待（改訂版）』ナカニシヤ出版
- 菱川邦俊（2021）「日露間におけるCOIL型授業の実践－京都外国語大学・モスクワ市立大学「日露共同授業」を例に－」ユーラシアへのまなざし1,49-58.
- 藤山一郎（2021）「日本・インドネシア間におけるCOIL型授業の実践と課題」和歌山大学クロスカル教育機構研究紀要2,108-118.
- 松田勇一・安龍洙（2018）「日本社会における中国人交換留学生の異文化理解に関する一考察」茨城大学全学教育機構論集 グローバル教育研究1,69-83.
- 松田勇一・安龍洙（2019）「中国出身留学生は日本のサブカルチャーを通して日本をどう捉えているか日本社会における中国人交換留学生の異文化理解に関する一考察」茨城大学全学教育機構論集 グローバル教育研究2,73-85.
- 山下美樹（2021）「オンライン国際連携学習（COIL）の実践と考察：海外パートナー校の大学院生による学習支援」麗澤大学紀要104,105-111.
- 関西大学プレスセンター（2017）「世界中の学生と授業をシェアする新しい学びのカタチ『COIL（コイル）』「第3回KU-COILワークショップ・国際シンポジウム」を開催～全国に先駆けて導入した地球規模の遠隔教育の成果を発信～関西大学」<https://www.u-presscenter.jp/article/post-38464.html>（2021年9月2日閲覧）
- 厚生労働省（2021）「自殺の統計：各年の状況」https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/seikatsuhogo/jisatsu/jisatsu_year.html（2021年10月22日閲覧）
- 独立行政法人日本学生支援機構（2021）『2020（令和2）年度学国人留学生在籍状況調査結果』<https://www.studyinjapan.go.jp/ja/statistics/zaiseki/date/2020.html>（2021年9月2日閲覧）
- 独立行政法人労働政策研究・研修機構「データブック国際労働比較2019 6. 労働時間・労働時間制度」<https://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/databook/2019/ch6.html>（2021年10月22日閲覧）